

公益財団法人

中央競馬馬主社会福祉財団のしおり



公益財団法人
中央競馬馬主社会福祉財団

財団のあゆみ

中央競馬は、健全娯楽として多くのファンに支えられ、親しまれて、著しい成長をとげてきました。日本中央競馬会は、勝馬投票券の売上げの10%と、さらに決算をして剩余があれば、その2分の1相当額を日本中央競馬会法の定めるところにより、毎年国庫納付金として納めることになっています。

国はその納付された総額の25%を民間社会福祉事業振興のために充てることとされており、これは国的一般会計として執行され、厚生労働省を通じて我が国の民間社会福祉事業に寄与しています。

一方、かねてから中央競馬の馬主の間で、自分たちの手で、かつ目に見える形で社会福祉に貢献したいという気運があり、これに併せて競馬に対する社会の認識を高めることを目的として、競馬賞金の一部を自主的に拠出することにより、昭和44年10月に財團法人中央競馬社会福祉財團が設立され、平成6年に財團法人中央競馬馬主社会福祉財團へと名称変更、平成22年12月から公益財團法人に認定され、現在に至っています。

設立当初より、全国の民間社会福祉施設等に助成金を交付しており、その累計額は、平成29年度までに27,508件、1,199億円余に達しています。

その他、当財團では民間社会福祉施設職員を対象とした海外研修事業を昭和45年から、国内研修事業に対する助成を昭和48年から実施しています。

このように中央競馬馬主社会福祉財團は、長年にわたり我が国の社会福祉事業の発展充実に貢献しています。

事業の内容

1. 民間社会福祉施設等に対する助成事業

中央競馬馬主社会福祉財團は、原則として法人格を有する公益的団体であって、社会福祉事業を行う社会福祉法人又は公益社団法人若しくは公益財團法人及び特定非営利活動法人が運営する社会福祉施設等に対し助成をしています。

主な対象事業としては、施設の増改築及び修繕、門扉・塀・柵等外構工事、給湯水・下水道工事、冷暖房工事、屋上防水工事、作業用機械機具、特殊浴槽、厨房器具、教材遊具、各種自動車、その他施設で必要と認められるものなどです。



当財團の名称とロゴマークが表示された送迎用車両（馬主協会名が併記された車両もあります。）



保育所等に設置された総合遊具



当財団の標識（ラベル）が貼付された厨房機器
(スチームコンベクションオーブン)

この助成金の申請は、各地の中央競馬開催競馬場にある馬主協会又は各都道府県共同募金会で受け付けていますので、詳細については、同馬主協会・共同募金会又は当財団にお問合せください。

表1. 助成事業の件数と金額（昭44～平29）

区分	障害者（児）福祉施設	老人福祉施設	母子・児童施設	その他	合計
件 数（件）	9,280	8,016	7,321	2,891	27,508
金額（百万円）	38,806	35,434	28,182	17,508	119,930

2. 研修事業

（1）海外研修事業

中央競馬馬主社会福祉財団は、諸外国の福祉施設における実習を通して、サービスの専門的な知識・技能を習得し、我が国の社会福祉施設サービスの向上に資することを目的に、その研修に係る費用を助成する海外研修事業を実施しています。この事業は、昭和45年から実施し、平成29年度で45回を数え、海外研修生は316名に達しています。（表2、3参照）

研修への応募資格要件は、原則として、民間の社会福祉施設等に勤務し、サービス提供を行う者で、年齢が27歳以上45歳以下、業務経験5年以上、日常的英会話能力を有する者となります。



乗馬療法（Hippo therapy：治療的乗馬）実践研修
(イギリス ロンドン郊外にて)



デイケアでの送迎風景（カナダにて）

研修生の選考方法については、毎年4月初旬に各都道府県知事・政令指定都市市長・中核市市長を通じて、対象となる施設に研修生募集についての周知依頼をし、応募を受け付け、当財団が行う書類審査・面接審査に合格した者が、翌年の海外研修生として、3週間以上2か月以内（合同研修5日間を含む）の期間において研修を行います。助成内容、応募方法、過去の研修報告等については、当財団のホームページをご覧ください。

表2. 海外研修生の職種別人員（昭45～平29）

職種	人員	職種	人員
生活指導員等	162	保育士	32
心理判定員	12	医師	14
理学療法士	29	看護師	7
作業療法士	11	相談員	5
言語聴覚士	5	その他	27
介護職員	12	合計	316名

表3. 海外研修生の主な個別研修国（昭45～平29）

研修国	人員	研修国	人員
アメリカ	212	オランダ	53
イギリス	149	イスラエル	43
デンマーク	136	フランス	28
ドイツ	84	フィンランド	24
スウェーデン	80	イタリア	16
カナダ	63	オーストラリア他	78

(延べ966名)

(2) 国内研修事業

中央競馬馬主社会福祉財團は、民間の社会福祉法人が運営する特別養護老人ホーム、身体障害者・児施設、知的障害者・児施設等に勤務している職員が、そのサービスに必要な専門知識と技術を習得するため、毎年実施する合宿研修（4日間）に対し、助成を行っています。

本事業は、昭和48年から実施し、平成29年までの45年間に延べ124回の研修会を開催、受講人員は7,165名となっています。（表4参照）

研修の内容等、詳細については、当財団のホームページをご覧ください。



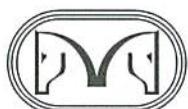
全体講義



生活支援技術と介護演習

表4. 民間社会福祉施設職員研修会 受講者の内訳（昭48～平29）

特別養護老人ホーム 介護職員	障害者・児（身体・知的）施設 介護職員、生活支援員等	合計
4,904	2,261	7,165名



公益財団法人
中央競馬馬主社会福祉財団

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1丁目2番10号 虎ノ門桜田通ビル2F

電話 03 (6550) 8966 FAX 03 (6550) 8967

<http://www.jra-umanushi-hukushi.or.jp/>

(2018.6月発行)

海外研修参加者募集



趣旨

諸外国の施設における実習を通じて専門的な知識・技能を習得し、我が国の社会福祉施設サービスの向上に資することを志向する民間社会福祉施設の直接処遇職員に対する助成事業の実施。

対象職種

①介護職員、②生活指導員、③職業指導員、④心理・職能判定委員、⑤理学療法士、⑥作業療法士、⑦看護師、
⑧保育士、⑨児童指導員、⑩その他(①から⑨に該当しない者は応募前に財団に問合せのこと)

対象要件

- ①～④の条件をすべて満たす者(①と②は募集年度の4月1日時点)
- ①年齢(27歳以上55歳以下)
- ②経験年数(5年以上)
- ③研修の具体的テーマを有し、今後も福祉業務を続ける意志のある者
- ④日常的英会話能力を有する者



募集人員

若干名

研修期間

毎年4月中旬～6月下旬の間で時期は財団が指定。
期間は本人の希望する3週間～2ヶ月以内(合同研修期間を含む)。

研修方法

アメリカ、又はデンマークでの5日間の合同研修後、研修者自身が設定する個別研修を実施
(個別研修国は原則3カ国以内)。

助成金額

財団が承認した期間に応じ、一人当たり滞在費1日1万円と旅費等50万円以内を支給。
現地交通費は滞在日数に応じ10万円を限度に支給。

応募方法

応募者本人が①～⑥の応募書類を財団に送付
(①～④は財団ホームページよりダウンロード)

- | | | |
|-----------|------------------|------------|
| ①海外研修応募調書 | ④所属施設長の推薦書 | ⑥施設のパンフレット |
| ②履歴書 | ⑤英検・TOEIC等の成績照明を | |
| ③研修テーマ等 | お持ちの方は写しを添付 | |



応募期間

毎年5月1日～7月末日(必着)

*選考方法等その他詳細につきましては、当財団のホームページをご覧ください。

問合せ先

公益財団法人 中央競馬馬主社会福祉財団 企画・管理部 TEL:03-6550-8966
<http://www.jra-umanushi-hukushi.or.jp/>